

たてばやし

第208号

# 市議会だより

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp>

編集：館林市議会報編集委員会



市民の皆さまへお願い♥

手洗いや咳エチケットを徹底し  
引き続き「3密」を避けるように  
してください。



新型コロナウイルス感染症情報はこちら↑

3月  
定例会

館林消防署新庁舎

## 令和2年度 館林市一般会計予算など 15議案が決まりました

### 主な掲載記事

- 本会議のあらまし・委員会提出議案・請願の審議結果 … 2～3ページ
- 予算特別委員会 …… 4ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 …… 5ページ
- 一般質問（9人） …… 6～11ページ
- 議員研修会 …… 11ページ
- 常任委員会の審査報告 …… 12ページ



# 本会議のあらまし

令和2年館林市議会第1回定例会は、3月6日から24日までの19日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案等は、追加議案を含め16件で、審議の結果、副市長の選任については不同意、その他の議案については、原案のとおり可決されました。その他、請願2件の審議が行われました。

## 人事案件

### ▽副市長の選任について

副市長の小山定男さん（大島町）の任期が、本年3月31日をもって満了となることから、後任に小林滋由さん（邑楽郡邑楽町）を任命したいとして、地方自治法の規定により、議会の同意を求められたもので、賛成少数により不同意となりました。



## 条例の改正

### ▽館林市一般職の任期付職

員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 Ⅱ 地方公共団体における一般職の任期付職員に係る給与の取り扱いが、国において改正されたことに伴い、任期付職員の給与の取り扱いについて、常勤職員に適用される基準に準じて取り扱うもので、任期付職員及び任期付短時間職員の給与決定について、任期の定めのない常勤職員に適用される本市職員の給与に関する条例の規定を適用できるように、読み替えの規定を設けるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市附属機関設置条例の一部を改正する条例 Ⅱ まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の効果検証を行うため、新たに館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会を設置するに当たり、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

### ▽館林市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例

Ⅱ 国民健康保険税の減免に係る事務処理の県内標準化を図る必要があるため、国民健康保険税の減免の対象者に刑事施設等に収容された被保険者の属する世帯の納税義務者を加えるとともに、所要の改正をするため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

### ▽館林市印鑑条例の一部を改正する条例 Ⅱ 成年被後見

人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、印鑑登録

正されたことに伴い、成年被後見人に係る欠格条項の適正化を図るため、印鑑の登録資格に関して、「成年被後見人」は一律に印鑑の登録を受けることができないうとする規定を「意思能力を有しない者」にする規定に変更するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

## その他の議案

### ▽館林地区消防組合規約の変更に関する協議について

Ⅱ 館林市広域防災拠点の整備に併せ、館林地区消防組合消防本部・館林消防署の移転新築に伴い、同組合の



消防本部・館林消防署新庁舎

事務所の位置を「館林市美園町7番3号」から「館林市上赤生田町4050番地の1」に改めるため、組合規約の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

## 補正予算

### ▽令和元年度館林市一般会計補正予算（第6号） Ⅱ

12億6530万4000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ286億4543万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和元年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） Ⅱ 1585万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ83億2677万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和元年度館林市下水道事業特別会計補正予算（第3号） Ⅱ 4886万1000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億4925万2000円とする

もので、全員一致で可決されました。

もので、全員一致で可決されました。

▽令和元年度館林市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 113,848万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億2,971万8,000円とするもので、全員一致で可決されました。

◆補正予算(追加議案)

▽令和元年度館林市一般会計補正予算(第7号) 115億3,417万5,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ291億7,961万3,000円とするもので、全員一致で可決されました。

令和2年度予算

令和2年度予算は、第五次総合計画後期基本計画の8つの基本目的を踏まえるとともに、持続可能な魅力度の高いまちづくりを具現化するため、「災害時の危機対応能力の高いまちづくりに資する事業」、「健康寿命を伸ばし、生涯現役のまちづくりに資する事業」、

「個性にあった教育と、仕事が見つかるまちづくりに資する事業」、「日本遺産『里沼』をはじめ観光・食・農産物のブランド力の向上に資する事業」、「人口減少時代に対応した持続可能なまちづくりに資する事業」を重点項目に掲げ、「先端のまち館林」の形成に資する重点課題や緊急性の高い施策、さらには社会性及び将来性のある事業などに重点配分した予算編成に取り組み、一般会計予算の総額は290億8,000万円、前年度比2.3%の増となっています。

また、特別会計(下水道事業会計を含む4会計)予算の総額は、185億9,267万6,000円、前年度比5.0%の増となっています。(詳細については、4ページに掲載)



委員会提出議案

▷前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書 (全員一致で可決)

【全文】労働審判は、裁判官と民間の労働審判員とで構成される労働審判委員会が、労働者と使用者との間の民事に関する紛争を解決する裁判所における手続であるが、原則3回の手続において解決が図られるため、迅速な紛争解決手段として評価が高い制度である。

ところが、現在、群馬県においては前橋地方裁判所本庁(前橋市)において労働審判が実施されているものの、同裁判所管内支部においては労働審判は実施されていない。とりわけ、太田支部管内で労働審判が行われていない不都合が著しい。

前橋地方裁判所太田支部(太田市・館林市・邑楽郡)の管内人口は40万1,969人、桐生支部(桐生市・みどり市)の管内人口を併せると56万3,927人となり、前橋地方裁判所本庁(前橋市・伊勢崎市・渋川市・北群馬郡・佐波郡)の管内人口である69万3,528人(いずれも2017年10月1日現在の統計)に近い人口を有している。

また、太田支部管内の製造品出荷額は、2017年工業統計調査によると約4兆3,813億円であり、群馬県内の本庁・支部管内の中ではもちろん、北関東(群馬、茨城、栃木)の本庁・支部管内においてもトップであること、太田支部管内には、日系ブラジル人を含めた外国人労働者の割合が高いことから、解決すべき労働問題が多く発生している。

2016年度の総合労働相談コーナーにおける総合労働

相談件数は、太田総合労働相談センターにおいて1,218件であり、本庁所在地である前橋総合労働相談センターの相談件数(845件)をはるかに上回っている。

このように、前橋地方裁判所太田支部においては、前橋地方裁判所本庁に匹敵する労働審判の需要が見込まれるところである。

ところが、前橋地方裁判所太田支部管内から前橋地方裁判所本庁へ移動は、公共交通機関としては、直通の電車がなく乗り換えが必要であり、片道1時間半以上かかる(特に、板倉地区からの移動時間は2時間を超える)ことから、労働審判制度の利用が大きく制限されている。この状況を踏まえると、太田支部管内地域においては、労働審判実施の必要性が高いにもかかわらず、距離的・時間的負担からせっかく評価の高い労働審判制度を利用しにくい状況にある。よって、前橋地方裁判所太田支部において労働審判手続の実施を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先=最高裁判所長官、前橋地方裁判所長

請願の審議結果

▷年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願=賛成少数により不採択となりました。

▷前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書提出を要請する請願書=意見書が採択されたことにより、みなす採択となりました。



# 予算特別委員会

3月9日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和2年度一般会計予算をはじめ、5つの特別会計予算が付託され、16日から18日までの3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計及び国民健康保険特別会計は賛成多数で、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計並びに下水道事業会計は全員一致をもって、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

## 市長の提案説明による主要な施策

### ■災害時の危機対応能力の高いまちづくりに資する事業

災害時の情報伝達体制の多様化を図るため、防災情報伝達システムを整備するほか、広域防災拠点整備事業において消防新庁舎西側広場を整備します。また、今年度策定します、国土強靱化地域計画を市民、事業者と共に推進します。

### ■健康寿命を伸ばし、生涯現役のまちづくりに資する事業

健康寿命延伸プラットフォーム事業において、市民への情報発信の場としてシンポジウムを開催するほか、新たに野菜摂取推進店（ベジ活応援店）登録制度を推進します。さらに、たてばやし新8020運動を推進するための運動活動量計を活用したモデル事業や、健康ウォーキング教室などを通し、健康づくりや健康寿命の延伸に取り組めます。

### ■個性にあった教育と、仕事が見つかるまちづくりに資する事業

「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会制度）モデル校を3校に拡大し、地域の教育力を学校運営に生かします。また、引き続き向井千秋記念子ども科学館ROCKET事業や子どもの学習支援事業を実施するほか、就労機関等と連携し、障がい者の雇用に積極的に取り組んでいる先進企業を視察するなど、障がい者・発達障がい者の個性に合った職場環境づくりを推進します。

### ■日本遺産『里沼』をはじめ観光・食・農産物のブランド力の向上に資する事業

農商工連携活性化プロジェクト事業を実施するなど、地産地消の推進や館林ブランドの確立のための体制づくりを推進します。また、4月から6月に開催される群馬デスティネーションキャンペーンに合わせ、つつじが岡公園で江戸情緒を再現した「100人花見茶会」や、

「日本遺産 一里沼巡りー」モバイルスタンプラリー、歴史の小径周辺でのまちなかマルシェの開催など、本市の観光情報を発信し誘客を図ります。さらに、日本遺産「里沼」を生かした体感型の事業を実施するほか、里沼サミットやワークショップの開催などを通し、シビックプライドの醸成、ブランド力の向上に取り組めます。

### ■人口減少時代に対応した持続可能なまちづくりに資する事業

移住定住促進通勤支援金を継続して実施するほか、新たに定住促進通学支援金を交付し、東京一極集中となっている若者の人口流出の抑制に努めます。また、外国語にも対応可能なごみ分別アプリの導入や、外国語翻訳機能を備えたタブレット端末を保健センターに設置し、外国人住民の利便性を図ります。さらに、農業分野において、スマート農業推進プロジェクト事業を継続して実施し、持続可能な農業に取り組むほか、企業誘致の受け皿となる新たな工業団地等の事業化に取り組めます。

このほかとしまして、ひきこもりや生活困窮など、複雑化する地域の福祉的課題に対応する、相談支援包括化推進員を配置した福祉の相談窓口を総合福祉センターに新たに設置します。さらに、中央通り線や館林駅東口駅前広場、第二小学校、第四中学校など、公共施設や社会資本の整備を行うほか、8月に開催される全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会を通じスポーツの推進を図るなど、様々な事業を通して市民生活をサポートするとともに、地域の活力を高めていきます。

なお、新型コロナウイルスの感染の脅威は、新年度以降も続く可能性があります。関係機関と連携し感染拡大の抑制を図るとともに、社会的、経済的影響について細心の注意を払い、適切な対応に努めます。

## 令和2年度 一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額(千円)	構成比(%)	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	11,637,551	40.0	総 務 費	2,661,610	9.2
地方交付税	2,090,000	7.2	民 生 費	9,309,475	32.0
国庫支出金	3,322,335	11.4	衛 生 費	3,817,382	13.1
県支出金	2,791,193	9.6	商 工 費	1,353,176	4.7
繰 入 金	2,035,797	7.0	土 木 費	3,764,188	12.9
諸 収 入	1,576,485	5.4	教 育 費	3,800,561	13.1
市 債	2,667,600	9.2	公 債 費	2,159,781	7.4
そ の 他	2,959,039	10.2	そ の 他	2,213,827	7.6
計	29,080,000	100.0	計	29,080,000	100.0

一般会計予算は  
総額290億8000万円

## 令和2年度 特別会計予算

会 計 別	予算額 (千円)	
国民健康保険特別会計	7,990,325	
介護保険特別会計	7,123,650	
後期高齢者医療特別会計	944,073	
下水道事業 会 計	収益的支出	1,496,678
	資本的支出	1,037,950



## 議員個人の賛否結果一覧表

議案等名		議席番号																	結果	
		議員名																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		松本隆志	柴田信	平井玲子	今野郷士	川村幸人	斉藤晋一	森田武雄	渋谷理津子	権田昌弘	櫻井正廣	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	向井誠	井野口勝則	小林信	
議案第1号	副市長の選任について	●	●	○	○	●	○	●	●	●	○	●	●	○	—	●	○	○	●	不同意
議案第2号	館林地区消防組合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	館林市一般職の任期付職員を採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	館林市附属機関設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	館林市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	館林市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	令和元年度館林市一般会計補正予算(第6号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	令和元年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	令和元年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	令和元年度館林市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	令和2年度館林市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第12号	令和2年度館林市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	—	○	○	○	●	原案可決
議案第13号	令和2年度館林市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	令和2年度館林市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	令和2年度館林市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	令和元年度館林市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
委員会提出議案第1号	前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	原案可決
請願第4号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	—	●	●	●	○	不採択

※遠藤重吉議長は採決に加わりませんので「—」となっています。

【○：賛成 ●：反対 欠：欠席】

## 市政を問う !!

### 権田昌弘議員 (7ページ)

- 本市のU I Jターンへの施策について
- 環境問題について

### 斉藤貢一議員 (7ページ)

- ごみ減量化問題等について

3月10日

### 渋谷理津子議員 (8ページ)

- 路線バスについて
- タクシー利用券の再編について

### 櫻井正廣議員 (8ページ)

- 館林市公営霊園の設立と現在、全国で注目されている樹木葬について
- 新しい形態の図書館について
- 館林市災害基金の創設について

### 松本隆志議員 (9ページ)

- ごみを減らし、資源を活かすまち実現の取組について
- 保育園・幼稚園の現状と課題について

3月11日

### 斉藤晋一議員 (9ページ)

- 市役所出張フォーラムについて
- 市民協働のまちづくりについて

### 平井玲子議員 (10ページ)

- G I G Aスクール構想の取組について
- 市庁舎の市民ホール、待合ホールについて

# 一般質問

今定例会における一般質問は、3月10日・11日の2日間にわたり行われ、9人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をたいただきました。

内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。(本文は質問者本人が要約したものです。)

### 篠木正明議員 (10ページ)

- 地域公共交通網及びタクシー券制度の拡充について

### 小林 信議員 (11ページ)

- 建築許可が認められない土地に、建築が認められた経緯と市の対応について

※一般質問通告書の質問事項を掲載

スマートフォンやタブレットからも視聴できます!

## 議会を覗いてみませんか

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/shigikai/>

市議会トップページ➡



←録画映像配信はこちら

<https://smart.discussionvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/>

なお、各議員の質問の様子は次ページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※ 3月定例会の会議録は6月上旬頃掲載予定です。





### UIJターンへの施策と 環境問題について

権田 昌弘 議員



**質問** 転入される方に対し行っているサービスはどのようなものがあるのか。

**答** UIターン支援奨励金、移住定住促進通勤支援金、本社機能誘致移住奨励金などがあります。

**質問** 若い世代が魅力を感じる新しい分野での企業を誘致する考えはあるのか。

**答** UIJターンにもつながるような企業を積極的に誘致していきます。

**質問** 電車通勤の補助があるのであれば、自動車の補助もあるべきだと思いが、検討する考えはあるのか。  
**答** 移住定住やUIJターンを促進するため、自動車補助も含め、関係部署と



### ごみの減量化問題について問う

斉藤 貢一 議員



**質問** ごみステーションについて伺いますが、最終管理者は誰になるのか。

**答** 要綱では、設置及び管理への協力と利用者による清潔保持を市民の責務と定めており、最終責任者は、設置申請者である行政区と認識しています。

**質問** 「協力」には、市民

同士の協力と、行政と市民の協力という二つの考えがあります。私は後者の方だと理解しています。その上で、ごみステーションの美観や動物等による散乱を防ぐためにも、補助金要綱を制定し、統一性や外観、機能を重視したごみステーションづくりを進める考え

連携を図り研究します。  
**質問** 条件付や給付型等の奨学金制度を見直す考えは。  
**答** 限られた予算を考慮のうえ研究していきます。



**要望** UIJターンを考えるなら、学生や親の負担を減らし、本市のためにもなる条件付の制度が有効と思っております。知恵を出し

はあるのか。

**答** 用地の確保を含め、あり方や基準について調査研究していきます。

**質問** 要介護者や高齢者に対するごみ出し支援については、どのように考えているのか。

**答** 環境省で、ごみ出し支援における課題抽出のためのモデル事業を行っており、市町村向けガイドラインが作成される予定です。福祉分野とも連携しながら検討したいと考えます。

進めていただきたい。

**質問** 今や電子マネーが当たり前の時代であるが、今後、市民課等の窓口にて導入する考えはあるのか。

**答** 利便性は高くなりますが歳入減少という課題があり、今後の手数料や国の取組等を注視していきます。

**要望** 現金か電子マネーの選択も可能でありメリットはある。時代の変化に早く対応することがUIJターンにもつながるものであり、導入を強く要望します。

**質問** 処理金額の減免も含めて、検討していただければと思います。次にごみの有料化について伺います。本市では色々な変遷を経て、100kgを超えて持ち込んだ場合に有料となる一部有料料となっています。ごみの総量の減少量は、200kgの上限を変更したことに

より、持込み量が減った量と同等です。このように有料化は減量化に有効ですが、ごみ袋の有料化と合わせて、今後の方針を伺います。

**質問** ごみを減らすために教育の中で意識を高める工夫をする考えはあるのか。

**答** 体験学習やゲーム等を通じて、今後とも環境教育に取り組んでいきます。

**質問** ごみ分別アプリを進めていく考えはあるのか。

**答** 10月からの導入に向けて予算を計上しています。

**質問** ごみの夜間収集についてどのように考えるか。  
**答** 利便性、環境性、経済性のバランスを考慮した処理システムを研究します。

**答** 歳出の抑制化の重点計画として、ごみの減量化をあげています。ごみ袋の有料化など排出量に応じた費用負担の仕組み導入について、検討を進めます。

**要望** 世界的には、高校生やサミットにおいても、循環型社会形成を重視した目標が採択されました。ぜひ、子どもたちに、ごみ減量化等を環境問題として実践、発表する機会を与えていただきたいと思います。



### 路線バスとタクシー利用券について



渋谷 理津子 議員



**質問** 路線バスの現状について伺います。

**答** 1市4町において8路線を運行し、路線の見直しや運賃等を協議しています。全車両がノンステップ仕様で車椅子の方にもバリアフリーで対応しています。

**質問** 運行の補助金は、どのようになっているのか。

**答** 車両購入は8割補助、人件費や燃料費など一路線平均約1400万円の運行経費は、市町の運行距離に応じて負担しています。

**質問** 利用者を増やすために、どのようなPR活動を行っているのか。

**答** 小学生が描いたポスターの車内展示や高校の入

学説明会での定期券出張販売、スマートフォンで運行確認ができるシステムの導入など、利用者サービスの向上に努めています。

**要望** ①2種類ある時刻表付路線図を一つにまとめ、バス停付近の名所を記載する。②館林駅の東口・西口が起点終点になっている路線を乗り換えなしで広域まで行けるよう路線の見直しを行う。③バス停には日よけとベンチを設け、公共施設やコンビニの前などに設置する。④路線バスに親しみやすい愛称をつける。⑤日本遺産を意識した路線を整備することを要望する。

**質問** 公共交通に対するニーズをどう捉えているのか。

**答** 1市4町で館林都市圏公共交通網形成計画を策定中で、住民アンケートや高校生のワークシヨップによる意見を反映させます。

**質問** いきいきタクシー利用券と高齢者通院等タクシー利用券は用途や枚数、窓口が異なるが、利用者からはどのような声があるのか。

**答** タクシー利用券を一度に複数枚利用したい。何人かで乗車した場合人数分の枚数を利用したい。補助額を基本料金まで増額してほしい。窓口が分かりにくいというご意見があります。

**要望** 高齢化が進み対象者が増加する中で制度全体を見直し、利用者の立場に立つてタクシー利用券の一元化を図るよう要望する。



### 公営霊園の設営と樹木葬の推進等について

櫻井 正廣 議員



**質問** 本市の公営霊園の設営についてお尋ねします。

**答** 住民からのニーズや周辺自治体の動向を注視していきたいと思っています。

**質問** 少子化などにより家庭内でのお墓の管理が難しい現状の中、新しい供養の形として注目されている樹木葬の推進についてお尋ね

します。

**答** 樹木葬は、後継者がいない場合でもお墓の管理や供養が行えるメリットがあります。新しい葬法として長期的な観点から研究したいと考えます。

**質問** 昭和49年に完成した図書館も既に46年が経ち、同年に完成した館林消防署

は、今年、新庁舎に移転します。現在、喫茶室やキッズスペースを兼ね備えた複合型図書館が注目されていますが、その様な改築への考えについてお尋ねします。

**答** 利用者の満足度向上のため、周辺の飲食店との連携を図り、子どもから高齢者までが、求めている図書や視聴覚資料等が安易に見つかるような配置に心がけ、親しまれる図書館として取り組んでいきます。

**質問** 自然災害が多発して

いる昨今、県内でも財政調整基金に災害対策等の使用区分を組み入れる自治体が多くなっています。本市における災害基金導入の考え方についてお尋ねします。

**答** 災害基金は早期の復旧、復興に資するものと期待されますが、現状では、財政調整基金から必要な経費の対応を考えています。

**質問** 昨年3月に完成した館林駅西口駅前広場駐車場は、60分100円です。市役所にも南北合わせ約20

0台、また三の丸南面駐車場には約360台の駐車場があり、有料化する方法もあります。市役所利用者は各窓口の認証で無料にし、駐車場利用料を災害基金に充てることで利用者の納得も得られると思いますが、考え方をお尋ねします。

**答** 自主財源の確保は、自治体の運営において必要な施策の一つと考えます。基金の財源確保の課題など、先進事例を参考に研究していきたいと思っています。



### 保育園・幼稚園の現状と課題、 ごみを減らす取り組みについて

松本 隆志 議員



#### 保育園の現状と課題

**質問** 本年4月の保育園入園率は、14園中10園が定員を下回る状況にあります。

今後とも出生数は減少傾向にあります。保育園の抱える課題について伺います。

**答** 待機児童の要因である保育士不足、施設の老朽化による修繕費等の財政負

担、園児数減少に伴う民間化を含めた公立・私立施設数の適正配置が課題です。

**質問** 本市は他自治体と比較し、公立保育園が多い現状です。財政面では、全額市財源で賄われる公立に対し、私立保育園の運営費は、約75%が国と県の資金で賄われます。そこで今後の方

向性について伺います。

**答** 館林私立保育園連絡会から公立保育園の在り方検討を望む要望書が提出されました。出生率は毎年減少していますので、幼稚園・保育園の再編を含め、利用者・経営者の視点、市財政負担等を総合的に判断し、事業を進めていきます。

### 市役所出張フォーラム 市民協働のまちづくりについて

斉藤 晋一 議員



**質問** 市内各地域で開催された市役所出張フォーラムの反応について伺います。

**答** 時間の都合で十分な意見交換ができず、アンケート調査や市長へのメッセージはがきを配付するなど意見聴取に努めました。里沼や総合計画についての説明は、参加者の約6割の方

が良かったとの回答でした。**質問** 主催者側である行政としての評価を伺います。

**答** 各地域の区長と市の共催で行い、地域と行政の連携を深めることができ、地域の生の声を市政に反映できる大変貴重な機会であったと考えます。

**要望** 全庁でなく各部署で

も開催するなど積極的に市民の声を聞き、ていねいな説明や理解を得ることが重要です。多くの市民の声を傾け、政策に反映していただくよう要望します。

の取組について伺います。

**答** 小学校との交流や外国人指導助手の訪問等、各園で地域の様々な教育資源を活用し、特色ある教育活動を展開しています。

**質問** 利用率が本年4月に約35%と低水準で推移する中、今後どのような体制で運営すべきと考えますか。

**答** 少子化や核家族化、共働き家族の増加が想定されますので、幼稚園、保育園の統廃合や民営化、認定こども園への移行検討を含

め、関係部局と連携を取りながら進めたいと考えます。ごみを減らす取組

**質問** ごみステーションの排出課題に対する取組や地域連携について伺います。

**答** 依然ルールを守らないごみ排出が多いため、地域の意見を踏まえた統廃合や適正配置を進めます。また定期巡回や地元説明会、違反ごみ排出者への直接指導の強化など、地域と連携し、マナー向上とごみの減量化に取り組みます。

**質問** 市民協働の指針の策定効果について伺います。

**答** 市民と行政が共通の認識を持ち、庁内推進会議によりネットワークが構築され、推進のための環境が整備できたと考えます。

**質問** 市民協働を推進する上での課題を伺います。

**答** 市民協働に取組む団体からは、人材不足の問題を聞きます。また、市民と行政のコミュニケーション不足も感じます。セミナーや講演会、情報提供などの取組を行っています。

**質問** 市民活動に関わる情報提供等について分りやすい表示や相談しやすい雰囲気を作るなど、市民協働課の現状の中で工夫に努めたいと考えます。

**要望** 市民の声や意欲、アイデアの取りこぼしがあつてはなりません。市民サポートセンター設置のために、誰でも立ち寄れてボランティアの相談や勉強もできる市民サポート窓口の開設や、スペースの確保を要望します。





### GIGAスクール構想と 親しみやすい市庁舎について

平井 玲子 議員



#### GIGAスクール構想

**質問** 文部科学省は「GIGAスクール構想」として児童生徒1人1台の端末と、学校の高速大容量の通信ネットワークを整備することとしていますが、本市の小・中学校における学習用端末の整備状況についてお尋ねいたします。

**答** コンピューター教室に各40台、持ち運び用タブレット型PCを各22台整備しており、合計992台となっております。

**質問** 本市の学習用端末1台当たりの児童生徒数についてお尋ねいたします。

**答** 平成30年度におきまして、5・7人に対し1台

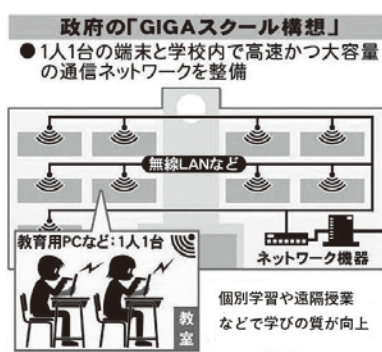
となっております。

**質問** GIGAスクール構想の実現にどう取り組んでいけるのか、お考えを伺います。

**答** 新たな視点や発想に立って、教育システムなども含めて見直し、準備を進めていく必要があります。

**要望** 学校が休校の非常時にもタブレットが1人1台あれば、遠隔授業ができません。学校ICT環境の飛躍的な充実と、ICTを効果的に活用した豊かな学びの

実現を目指して、教育委員会だけでなく、市全体をあげて全力を尽くしていただくよう要望いたします。



親しみやすい市庁舎へ

**質問** 市民課待合ホールのテレビで、市議会中継を放映することは可能ですか。

**答** 市民の皆様にも興味を持っていただくことにつながりますので、議会開催時には中継にチャンネルを切り替えたいと考えます。

**要望** みどり市の庁舎には自動証明写真機が設置され、マイナンバーカードの申請もでき好評だそうです。本市においても自動証明写真機の設置を要望いたします。



### 公共交通網および タクシー券制度の拡充について

篠木 正明 議員



**質問** 高齢化が進行する中で、地域公共交通網の整備は、まちづくりの重要な要素になっています。市長は地域公共交通網について、どのように考えていますか。

**答** 高齢化や健康面、環境面からも、地域公共交通の整備や利用促進は待ったなしの状況だと思えます。

**質問** バスを利用したくても本数が少なく利用できないという声を聞きます。運行本数を増やす考えはないのですか。

**答** 利用者が増えるのであれば、運行本数の増便も考えられると思います。

**質問** 1路線につきバス1台で運行しているのを、2

台にすれば、1時間に1本程度の運行になります。財政面や乗務員不足などの課題があると思いますが、追加する1台をワゴン車にすることによって、乗務員確保の条件が広がると思えますが、どう考えますか。

**答** 経費の多くは人件費ですので、車両を小さくしても経費が大幅に削減されるわけではありません。運転手の確保という課題もあります。しかし、運行本数が増えた方が良いのも明らかです。

かです。そこで、広域幹線路線と循環線、区域運行の組み合わせなど、効率的で利便性の高い公共交通を冷静かつ客観的に検討していきたいと考えています。

**質問** 国の基本方針には、地域公共交通は観光振興や健康、福祉、環境など様々な分野で大きな効果をもたらすと指摘されています。目先の収支だけでなく、大きな観点で考えていただきたいと思えます。次に、タクシー券について

て伺います。新年度からタクシー券の一部が通院だけでなく、買物にも使えるようになりませんが、高齢者の外出の機会を増やすことが介護予防などにつながるのですから、用途制限をなくすべきだと思えますが、どう考えていますか。

**答** 今回の用途拡充は、高齢者の移動を何で賄うか、最大限の効果があるかを検討するまでの実証実験でもありますので、ご理解のほど、よろしく申し上げます。





### 建築が認められない土地に 建築が認められた経緯と市の対応

小林 信議員



建築が認められた土地が  
**質問** 建築基準法に基づき  
 確認申請を行い、建築が認  
 められ、住宅を建築したが、  
 建築が認められない土地で  
 あることが判明した。  
 所有者は困惑しているが、  
 なぜこのような事態になっ  
 たのか、市はどのように対  
 応しているのか。昭和30年

当該用地と市道の間  
**答** 建築確認は、申請書  
 の中身が建築基準法及び関  
 係法令に合致しているかを  
 確認するもので、建築物を  
 建てていいかどうか許可す  
 るといった許認可でないこ  
 とをご理解いただきたいと  
 思います。当該用地と市道  
 の間に民地があるため、公  
 道に接しておりません。救  
 済措置として、一部2メー  
 トル以上の通路を確保して  
 いただければと思います。  
 ご相談があれば対処方法を

説明させていただきます。  
 以前は県の土木が確認申請  
**質問** 昭和40年代頃は県の  
 土木事務所が確認申請を行  
 っており図面だけで現地を  
 確認していなかったという  
 ことですが、市に移管され  
 たのは昭和56年以降という  
 ことですが、公の機関が認  
 めたものであり、行政の責  
 任がないとは言えません。  
 境界くいがコンクリート  
 塀の脇にあります。この  
 塀が民有地であれば延長線  
 上は公道に接していること

になります。どこまで調査  
 しているのか。  
**答** 境界の位置について  
 側溝の南側であれば、水路  
 用地の脇に入れてあると考  
 えられます。昔は境界を確  
 定しないまま側溝を設置し  
 ている例もあります。側溝  
 の脇に何十センチかの残地  
 が残っているものと解釈し  
 ております。この土地につ  
 いては時間をかけて権利者  
 の方に説明して、ご理解い  
 ただくよう考えています。

### 議員研修会を開催

### 防災・危機管理における地方議会の役割

2月28日(金)・文化会館小ホール

自然災害が頻発する昨今  
 において、防災・減災対策  
 は各自治体における最も重  
 要な課題の一つであり、本  
 市においてもハザードブッ  
 クを作成するとともに、国  
 土強靱化地域計画の策定を  
 進めるなど、「災害時の危  
 機対応能力の高いまちづく



議員研修会の様子と講師の幸田雅治氏

り」を目指しているところ  
 です。  
 こうした中、昨年10月に  
 上陸した台風第19号が、全  
 国各地に大きな被害を与え  
 たことは記憶に新しく、本  
 市においても初めて避難勧  
 告や避難指示に基づく避難  
 所を開設しましたが、情報

伝達や深夜の避難、議会の  
 関わり方など、様々な課題  
 の発見がありました。  
 これらのことを踏まえ、  
 市議会としましては、災害  
 対応における議員の役割な  
 どについて考えるため、神  
 奈川大学法学部教授で、弁  
 護士の幸田雅治氏を講師に  
 招いて、「防災・危機管理  
 における地方議会の役割」  
 と題した研修会を、2月28  
 日、文化会館小ホールにお  
 いて開催し、本市職員をは  
 じめ、邑楽郡内の町議会議

員の皆様や本市区長協議会  
 及び商工会議所の方々など  
 にも多数ご参加いただき、  
 災害時における議員の役割  
 として、情報の把握や行政  
 との情報共有に努め、住民  
 のニーズを執行部へ伝える  
 こと、また、議員において  
 も住民と同様の行動をした  
 うえて、被災住民と行政と  
 の橋渡し役となり、住民へ  
 情報伝達を行う役割がある  
 ことなどについて、自身が  
 実際に携わった事例等を交  
 えてご講演いただきました。

# 常任委員会の審査報告

## 総務文教

付託された案件は、議案2件と請願1件で、議案については、「館林市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」及び「館林市附属機関設置条例の一部を改正する条例」で、採決の結果は、2議案とも全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

また、「前橋地方裁判所太田支部での労働審判実施を求める意見書提出を要請する請願書」の審査では、委員から、労働者の権利また経営側の紛争の解決のためには採択すべきなどについての意見がなされ、採決の結果は、全員一致により採択とし、委員会提出議案として、今定例会に意見書を提出することになりました。

そのほか、三野谷公民館、第十小学校体育館及び館林地区消防組合消防本部・館

林消防署新庁舎の現地視察を行いました。



第十小学校体育館の現地視察

## 市民福祉

付託された案件は、議案2件と請願1件で、議案については、「館林市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例」の審査では、委員から、減免申請書の提出方法や減免措置に対する周知などについての質疑がなされました。

「館林市印鑑条例の一部を改正する条例」の審査では、委員から、意思能力を有する場合と意思能力を有

しない場合の判断などについての質疑がなされました。採決の結果は、2議案とも全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

また、「年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願」の審査では、保健福祉部からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、採決の結果、全員一致により不採択すべきものと議決されました。

そのほか、市民課から館林市斎場式場の臨時休場について、地球環境課から第三次館林市環境基本計画の概要についての報告がありました。

## 経済建設

議会から推薦する各種委員会委員のうち、館林市総合卸売市場あり方検討会委員に今野郷土議員と野村晴三議員を、館林市労使教育委員会委員に櫻井正廣議員を、館林市都市計画審議会委員に川村幸人議員と櫻井正廣議員を、それぞれ選出しました。

# 議会傍聴者の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、傍聴に来られる皆さまにおかれましては、マスクの着用や傍聴席入口において、消毒液による手指の消毒など、感染防止対策にご協力をお願いいたします。

## 【6月定例会の予定】

- 6月 5日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 8日(月) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 9日(火)・10日(水) 本会議＝一般質問
- 11日(木)・12日(金) 委員会＝常任委員会
- 18日(木) 本会議＝表決



☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。  
 ☆一般質問の通告順位表は、6月3日(水)から議会のホームページでご覧いただける予定です。  
 (<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp> ⇒ 館林市議会をクリックしてお入りください。)